

426 防災植物カフェで提案する野草料理の普及

取組主体【掲載年】	法人番号	事業者の種類【業種】	実施地域
四万十ふれーばー (日本防災植物協会、株式会社 LLP しまんと) 【平成 29 年】	-	その他防災関係事業者 【宿泊業, 飲食サービス業】	高知県

- 平成 28 年夏、高知県四万十市で、日本防災植物協会と株式会社 LLP しまんとは、地元の若手農家と協働し、「防災植物カフェ 四万十ふれーばー」を開店した。日本防災植物協会は身の回りに生えている食べられる植物を「防災植物」と名付け、災害時食糧難になった時でも、「防災植物」を活用して命を守っていくことを提唱し、防災意識を高める活動をしている。



- 「防災植物」とは、災害時、食糧難になった時でも、安全（無毒無害）で、調理や加工処理をすれば簡単に食べられる山野草のことで、同店ではシロツメクサ、カラスノエンドウ、ツユクサなど約 40 種類を登録している。
- メニューでは、「防災植物」の天ぷら、ベニバナボロギクのベーコン炒めやカラムシとクズの花のトロロなど、「防災植物」と地元野菜を使った料理が提供されている。店内にはその日使用した「防災植物」の標本が展示されており、図鑑等では得ることのできない実際の食の体験が、有事における準備となると同協会・同社は考えている。

▲ 防災植物と旬の四万十野菜天ぷらなど